

## 「新庁舎建設基本設計（素案）に関する地区別説明会」質問・意見等の記録

【会場：忠類ふれあいセンター福寿】

1	日 時	平成 25 年 5 月 30 日 (木) 19:00～20:30
2	会 場	忠類ふれあいセンター福寿 多目的ホール
3	参加者	12 人
4	町出席者	総務部長、企画室長、建設部長、忠類総合支所長、総務課長、企画室参事、都市施設課長、企画室副主幹、建築係長、都市整備係長

### 住民

建てようとしている建物には実在するモデルがあって、そこを勉強しながらこのような設計に至ったのか。また実在するものはなく、想定して設計したものなのか教えて頂きたい。

### 町

庁舎を建てるにあたって面積や、建物全体の考え方については、プロポーザルにより 6 社から基本的な考え方、方針などについて提案を頂いた。

類似の施設については、近年建設された足寄町役場、省エネ・新しい建物の考え方については、旭川にある北海道立総合研究機構建築研究本部北方建築総合研究所を視察し、我々の不安とされていることについても説明頂いたところ。

基本的には事務所建築であるが、庁舎としての機能、目的というものを確実に果たしていかなければならないということもあるため、庁舎としての性能や様々な造形なども含めて研究してきた。

また議会にあっては、議場のあり方について提言を頂いている。

この素案については、免震や構造的な強さ、省エネルギー、防災拠点としての役割などを洗い出し、検討を進め現在に至ったもの。

### 住民

素案の基本理念の中で、住民活動を想定した町民ロビー及び会議室の配置となっているが、どのような住民活動を想定されたのか。

次に、太陽光発電、防災対策だが、資料 1 の 4 ページ、防災対策の中で太陽光発電を導入し、停電時の電力に一部活用とあるが、例えば災害によって長時間の停電が起きた場合に、果たして太陽光発電のレベルで対応できるのかという心配がある。免震構造なので、建物が大きく壊れるということはまずないことだろうが、電話が通じないとか、コンピューターも使えないのであれば、役場としての仕事ができなくなると思うが、長時間停電時の電力の対応はどうか。

三つ目に、3 ページに各階の間取りがあるが、喫煙スペースはどのようになっているのか。吸う場所は確保されているかどうか。

### 町

住民活動の想定については、サークル活動や公区の会合等、住民の方々が主体となって行われるような会議などに活用して頂きたいと考えている。

太陽光発電システムの停電時における活用については、非常用発電設備を設け併用する考えであるため、太陽光発電での対応は極めて限定的な活用になるものと考えている。また、停電時については、非常用発電設備を使ってどの場所の電源をどう確保するのかといった問題もあるが、そうした内容について、今後、詳細に検討を進めていきたいと考えている。

庁舎の喫煙については、厚生労働省が受動喫煙の防止という通知を平成 22 年に出しており、少なくとも官公庁や医療施設は全面禁煙にすることが望ましいというものである。こうした世の中の流れを考えたときに、例えば足寄町役場では、最初はなかったが後で設けたということで、どうしても煙が漏れてしまい完全に遮断することは難しいといった実態もあることから、喫煙スペースを庁舎の中に

取り込むことは難しいという考え方で現在進めている。幸いにも庁舎の西側に森のような場所があることから、この場所に駐車場を設けることを考えているが、一般の人が見えるような場所ではないことから、そこに喫煙できるスペースを作り、確保できるように考えている。

従って、庁舎の中には取り込むことは考えていないというのが現状である。

#### 住民

喫煙場所の問題は、誠意を持って対応して頂かないとこの案には賛成できない。

国の通達、法の定めを町においても踏襲しなければならないと言う行政としての対応は分かるが、そこに温情というものが無いと、町民に信頼され親しみを持ってもらえる役場にはならないと思う。最悪、外という考え方も良いが、冬の寒い時期にこのようなことを町民に強いることもどうかと思う。こうして欲しいという明確なビジョンも無いが、たばこの税金収入が一年間に1億5千万円程度はあるだろうから、町民に親しみを持ってもらうという方向性でお考え頂きたい。

それから色々工夫されているようなので、我々素人がゴチャゴチャ言ってもしょうがないものの、設計事務所の方がいるので一言だけお願いするが、設計がどんなに素晴らしくても施工の段階で手抜きをされると免震も耐震もあつたものじゃないと。鉄筋は間引かない、生コンには水を混ぜないということは徹底して頂きたい。

#### 住民

3階建ての庁舎ということで、あえて免震建物にしなくても良いのではないかと。

非免震との金額の差はかなりあるのではないかとと思うが、免震と非免震とでどれくらい差があるのかお聞きしたい。

せっかく建てるのだから良いものを作りたいという考えだとは思いますが、何年位使えるのかという心配もある。確かに免震で建てていれば心配はないと言われるが、維持管理の費用も掛かるのではないかとと思うがどうか。

#### 町

耐震構造と免震構造それぞれの構造で建てた場合の工事費の違いについては、免震構造とした場合と比較して耐震構造の方が1億6千万円ほど安くなると試算している。

3階の低層建築なので免震構造まで必要ないのではないかとこの質問であったが、基本設計をするに当たって、構造について検討を進めたところ耐震構造と免震構造の違いの大きなものとしては、大地震時における損傷の具合にある。耐震構造にあっては、損傷を受けた時に一定程度の修繕が必要となり、場合によっては建物を供用することが出来ないことも想定されるが、免震構造にあっては、一定期間確実に供用することが可能であることが一番の違いである。

また維持管理費については、免震装置があるため一定程度必要となり、適切な維持管理を行うことで大地震が起きた時に備えるというもの。そういったものを備えるということは、プラスで予算は掛かるが、大地震時に備えることができることが最大のメリットだと考えている。

#### 住民

免震装置について、経年変化で劣化していくのではないかと心配している、これを採用するにあたり過去の採用実績や、経年変化に関するデータ等を検討のうえで採用されたのか。

#### 町

免震装置の歴史については、30年位のもの。あるメーカーのもので話を聞くと、今までに取り替えた事例はないとのこと。

技術資料として町が入手しているものとして、60年以上持つものと考えている。昨日の会場では10年位しか持たないというデータがあるとの話もあったが、町はそのような情報は持ち合わせておらず、調べる範囲では60年以上持つものと考えている。

## 住民

免震について他の国での採用例はあるか。

## 町

もともと免震構造については、ニュージーランドで始まったもので、その後アメリカやイタリアなどでも行われている。

庁舎もかつては3階建てであれば耐震構造で建てるところが多かったが、インターネット上で調べたところ平成25年以降に完成する3階又は4階建て建物で計画している庁舎の7割から8割が免震構造を採用していることから、免震構造が最良という考え方に立っている。

## 住民

私個人的には、免震構造の方が長期的にはコストパフォーマンス的には良いと考えている。

## 住民

本来であれば町長が出席して説明されるものかと考えるが、今日は来ていないのでお伝えを頂きたい。

説明を頂いたが、本当に町民のための庁舎なのかと非常に疑問に思う。本音は、職員の皆さんあるいは議会議員の皆さんが新しい庁舎に入りたいのではないかと。

私は役場庁舎に行ったことが無いが、一部では古い汚い寒い暗いと悪い典型の庁舎であって、そこで執務をとることに非常に苦勞されているのであれば新しい庁舎もやむを得ないのではないかと、それを本音で答えて欲しかった。本当に町民のために庁舎を建てるのであれば、一円でも安く建てる、それが本来ではないかと思っている。

一つだけ質問させて頂きたい。建設費は23億円だとして、その他に掛かる経費はどうするのか。というのは、庁舎の中に入れる机、椅子あるいはパソコンといった類の経費はどうするのか。

## 町

町長が来ていないというのは、今日の説明会は2年前の説明会とは異なりまして庁舎の基本設計の作業を8月まで行っているところではありますが、その基本設計の大筋の素案が出来ましたので、6月の1ヶ月かけて皆様から意見の公募を予定しております。

その際に資料だけを見ただけでは中々分かり辛いところもあるので、そういった点を補うためにも、住民説明会を開催させて頂き、その際にお聞きになって答えられることは、技術的な問題が多いであろうということから、一昨日は幕別会場で行ったのですが、町長は出席をしないで、部長以下で臨まして頂いているところであります。

備品については、23億円の中には入っていないが、極力今使っている物のうち使える物は持つていくという考え方でいる。どうしても必要な物については、どれ位になるのかは分かってないが、分かった時点でお知らせをしたいと考えている。新しい家に引っ越したからと言って、全てを新しくするという考え方は一切持っていないので、そこはご理解頂きたい。

また、建物の中の机の配置や机の大きさによっては、並びが変わることもあるが、できる限り今使用している物を使うことを考えている。

この他、書棚については、背の高いものもあるが、免震構造と言っても出来るだけ低いものを使用したいと考えている。他にファイリングシステムと言って、書類の残し方のルールを組み立てている最中であり、書類を出来るだけきちんと整理・管理をしていこうと業務の改善を含めて検討しているところ。

## 住民

1万円や2万円で出来るものではないので、こういう機会にもう少し切り詰めて頂いて、説明会は何回もあるわけではないので、今後、機会があれば対応して頂ければと思う。

## 町

他会場でもお聞きしたが、君たち(我々)の仕事をする場所が安全であれば良いのかと、言われている。

町民の生命と財産を守ることが我々の業務であり、業務をいかに早く、大地震が来た時に継続的に対応できるかということ、我々の命を守ることもちろんだが、どちらの命が大事と言っているわけではなく、どちらも大事だと考えている。

決して、我々が新しい庁舎に入りたいということではなく、町民の生命・財産を守るための職員が常に健全な業務を継続していくための庁舎だと認識している。

#### 住民

過去のことだが、合併の説明会の時に新庁舎を建てるのではないかと質問をした。その時の答弁では、庁舎は建てないという回答であった。その後の事情は分かるが、震度7の地震が仮に来た時には役場の庁舎は残るだろうが、一般の住宅は潰れるのではないか。

住宅は耐震や免震で建てているわけではないので、それを考えると新庁舎建設に伴い町民が負担するのであれば、少しでも安くして欲しいと言うのが本音。

#### 住民

実質公債費比率の説明では、安心して下さいとのことだったが、町民負担というか町民への跳ね返りは全くなのか。

#### 町

説明の中で、合併特例債について説明させて頂いたが、事業費の95%を借りることができる。それを今回は20億円借りて15年間かけて最終的には23億円程度返済することになるが、返済額のうち7割分が地方交付税として国から頂けることになっており、残りの3割分というのが一般財源で町の税収などから支払っていくことになる。

また、合併特例債で事業費の95%を借りた残りの5%、約1.5億円位については、北海道の補助金が交付される制度があることからそれを見込んでいる。

このことから、町の負担は無いわけではないが、町民から多く税金を頂くものではない。通常の財政運営の中で行っていくものであり、特別税などを徴収するという事はない。

#### 住民

今日来ている職員のみなさんにはお願いですが、私たちは心強く思っていますが、もっと強気になったらいかがか。

先ほど本音は町民のためではなく自分たち(職員)のためではないかという質問があったが、その質問の説明は正当な理由だと思う。と言うのは、災害時に役場庁舎が倒壊したらどうということになるかは、東北の震災で嫌と言うほど見てきた。大槌町であったか、庁舎がダメになり、中庭か前庭にテントを張って災害対策本部を作っている最中に津波が来て町長が流されたということだってある。災害対策本部がどれだけ重要かと、その一点だけ考えても、今の庁舎では全く用が足りないと思う。このことから、新しい庁舎を作るというのは、これは当然の話であると思う。

付随的な意味として、職員も暖かいところで仕事ができるだろうが、災害対策本部がなかったらボランティアや物資の受け入れ、指令するところがなかったら問題なので、この一点だけでも新庁舎建設の意味は本当に大きいと思うので、自信を持って町民の為ですと言い切っていただきたい。

#### 住民

木材、道産材の利用はどのように考えているのか。

#### 町

今回は素案であるため、構造部材についての仕上げ材までは決定していない。しかし、外装については、極力メンテナンス費用が掛からない材料の採用を考えている。

また、議会からも木材を積極的な活用をとの意見を頂いていることから、内装についてできるだけ地元の素材を使うということも考えており、具体的には実施設計において検討したい。